

健診は受けたあとが肝心です

6月に実施した総合健診の結果を8月上旬に送付しました。

今年度の総合健診は6月15日～20日（19日を除く）の5日間で実施され、609人の方（特定健診、後期高齢者健診受診者でがん検診のみの方を除く）が受診しました。

健診の結果は大きく分けて4項目に分かれています。

- ・要 精 検…詳しい検査が必要のため、必ず医療機関を受診しましょう
- ・要 指 導…生活習慣の改善と健康観察が必要です
- ・通院継続…現在のかかりつけ医療機関を継続して受診しましょう
- ・異常なし…今回の健診では異常が認められませんでした

※ただし、何らかの自覚症状がある場合は、医療機関での受診をお勧めします

健診は受けたあとが肝心です。

健診の結果を受け取ったら結果を必ず確認し、要精検の項目がある場合は、必ず医療機関を受診しましょう。

健診結果

1項目でも要精検がある方は346人、すべての項目で異常なしの方は9人でした。

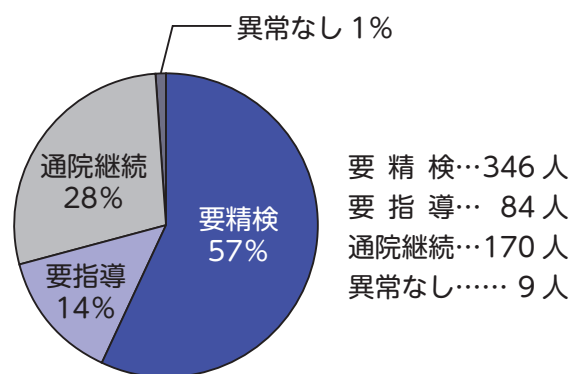
（グラフ参照）

今回要精検になっていない方も、自分の身体の状態を確認し、必要な場合は生活習慣改善に取り組むことが大切です。

村では、生活習慣改善のための保健指導等を実施しています。

健診の結果や生活習慣の改善について、分からないことがあれば健康福祉課にお気軽にご連絡ください。

【健康診査結果】



新型コロナワクチン接種（4回目）について

新型コロナワクチン接種（4回目）が、7/23、7/24、7/30、7/31、8/6の5日間で実施されました。今回は、60歳以上の方と、18歳～59歳の方のうち基礎疾患があり申請された方を対象として実施しました。接種率は下記の通りです。なお、追加接種（3回目）から5か月が経過した方には、随時接種のご案内をします。

■接種状況（令和4年8月16日時点）

	4回目接種人数	接 種 率
60歳以上	2,121人	83.7%
18歳～59歳	291人	11.9%



◆18歳～59歳の方

基礎疾患に該当し、4回目接種をご希望の場合は申請が必要です。

◆医療・福祉従事者の方

接種券等の発行には申請が必要です。職場で接種ができない場合は、ご相談ください。

健康福祉課 ☎55-3119

9月27日(火) 移動献血車が来村します!

～輸血用の血液がたいへん不足しています～

献血の際は、新型コロナウイルス感染予防のため、消毒、検温、換気等を徹底して行いますので、皆様のご協力をお願いします。また、献血協力者には後日、血液検査結果が直接届き、ご自身の健康状態の把握に役立ちます。

なお、献血場所と時間は次のとおりです。



献 血 場 所	時 間	献 血 場 所	時 間
マーレエンジンコンポーネンツ ジャパン (株) 平田工場	9:45～10:30	三進金属工業(株) 福島工場	13:30～14:30
平田村役場	11:15～12:00	ひらた中央病院	15:15～17:00

《 献 血 の で き る 方 》

1. 年 齢 満16歳以上70歳未満の方
(65歳以上の方は、60歳から64歳までの間に献血された方)
2. 体 重 男性45kg、女性40kg以上の方
3. 血 圧 最高血圧が90mmHg以上の方
4. 間 隔 ◎成分献血＝男女とも2週間後
◎200ミリリットル献血＝男女とも4週間後
◎400ミリリットル献血＝男性12週間後、女性16週間後
5. その他 現在病気や妊娠中(過去6か月以内に妊娠していた方及び産後6か月以内を含む)でない方、また過去に輸血を受けていない方



ひらた中央病院



小原 大治 医師

今回は慢性腎臓病について説明します。慢性腎臓病とは慢性に経過するすべての腎臓病を指します。あまり耳にしないかもしれませんが、実は患者さんは1330万人、成人の8人に1人いると考えられ、新たな国民病ともいわれています。慢性腎臓病はメタボリックシンドロームとの関連が深く、誰でもかかる可能性があります。腎臓は体を正常な状態に保つ重要な役割を担っているため、慢性腎臓病によって腎臓の機能が低下し続けることで、さまざまなリスクが発生します。

慢性腎臓病は初期には自覚症状がほとんどありません。それが、慢性腎臓病の怖いところで、患者を増加させている原因でもあります。慢性腎臓病は早期では治療で回復します。しかし腎臓は一度あるレベルまで悪くなってしまうと、自然に治ることはありません。放っておくと、どんどん進行して、透析療法や腎臓移植を行わなければいけなくなる可能性があります。

慢性腎臓病が進行すると、夜間尿、むくみ、貧血、倦怠感、息切れなどの症状が現れてきます。これらの症状が自覚されるときは、すでに慢性腎臓病がかなり進行している場合が多いといわれています。つまり、体調の変化に気をつけているだけでは早期発見は難しいといえます。定期的に健康診断を受け、尿や血圧の検査をすることが早期発見につながります。特に尿タンパク陽性の方は注意が必要です。病院で詳しい検査を受けるようにして下さい。

慢性腎臓病の発症・進行を抑える生活習慣はメタボリックシンドロームと共通しています。すなわち、これらの生活習慣を改善すれば、慢性腎臓病をはじめ様々な病気の予防につながります。禁煙し、アルコールを控え、適度な運動をすることがとても重要です。まずは自分でできることから始めて下さい。

問い合わせ：ひらた中央病院 ☎ 55-3333